

6-13

Graduate Program in Clinical Psychology

心理科学研究科

臨床心理学専攻

心理科学研究科 臨床心理学専攻の学位授与に関する方針

臨床心理学専攻では、以下の能力を身につけ、修了要件を満たした大学院生に修士(心理学)の学位を授与する。

- ① 保健医療、福祉、教育その他の分野において必要とされる、臨床実践の基礎的能力
- ② 臨床心理学的諸現象を包括的に捉える能力
- ③ 臨床心理学の知識を基盤とした、あらゆる人とのコミュニケーション能力
- ④ 支援を必要とする者、関係者、組織および社会のニーズを捉える能力
- ⑤ 高い倫理観を持ち、自己研鑽を継続できる能力

教育目標

社会に役立つ心理臨床家、および、科学的素養を有した心理臨床家を育成することを目標にしている。そのため、臨床心理学や関連科学の知識の修得と同時に、専修科目における修士論文の作成、さらに、カウンセリングや心理療法(臨床心理学的介入)の基礎、心理検査の実施と解釈を含む臨床心理査定、臨床心理学的地域援助の実際を、役割演技や、付属の臨床心理センターをはじめとする学内外の実習施設において修得することが課せられる。

修士課程

	前学期	後学期
1年次	● 臨床心理学の心構え ②	● 臨床心理面接特論Ⅱ ※②
	● 臨床心理学特論Ⅰ ※②	● 臨床心理学特論Ⅱ ※②
	● 臨床心理面接特論Ⅰ ※②	● 臨床心理査定演習Ⅱ ※②
	● 認知心理学特論 ②	● 産業・組織心理学特論(産業・労働分野に関する理論と支援の展開) ②
	● 臨床心理査定演習Ⅰ ※②	● 心理療法特論Ⅰ ②
	● 心理学研究法特論 ②	● 学習心理学特論 ②
	● 精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開Ⅰ) ②	● 精神薬理学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開Ⅱ) ②
	● ポジティブ心理学特論(心の健康教育に関する理論と実践) ②	
	● 臨床心理基礎実習 ※②	
	● 臨床心理実習(心理実践実習)Ⅰ ⑤	
2年次	● 臨床心理実習(心理実践実習)Ⅱ ⑩	
	● 臨床心理実習Ⅲ ※②	
	● 臨床心理査定演習Ⅲ(心理的アセスメントに関する理論と実践) ②	● 心理療法特論Ⅲ(心理支援に関する理論と実践) ②
	● 心理療法特論Ⅱ ②	● 臨床心理地域援助特論(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践) ②
	● 社会病理学特論 ②	● 学校臨床心理学特論(教育分野に関する理論と支援の展開) ②
	● 親子関係特論 ②	● 司法心理学特論(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開) ②
	● 福祉心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開) ②	
1年次・2年次	● 臨床心理学研究 ⑧	

● 関係科目 ● 専修科目(修士研究) ○付数字は単位数を表す

臨床心理士養成カリキュラムの主要科目(表中の※印を付した科目)について、他の専攻の学生は履修できない。